

長船町要覧 1981



長船町

町のすがた

1. 沿革

往古美和村は、海部族の勢力下に属していたといわれ陶部の部民が居住し土器の製作が行われたもので地名もこれに由来した東須恵、西須恵、飯井が明治22年合併して美和村となる。国府村は土師、磯上、牛文、福里が合併したもので土師焼と称する土器を作っていたものと思われ今でも窯跡や焼物片が相当出土している。行幸村は服部、福岡、八日市、長船が明治22年に合併したもので明治天皇が中国地方ご巡幸の際当地に行幸されたものを記念して行幸村となった。

昭和30年3月31日美和村、国府村、行幸村が合併し長船町となった。なおこの町名は全国に古くから知られている長船の名刀に因み名づけたものである。

2. 位置

岡山県の東南部邑久郡の北端にあり、東北部は備前市に南部は邑久町西部は吉井川を隔てて岡山市、赤磐郡瀬戸町に接している。

岡山市の中心部へ約25km、備前市街地へ約12kmの位置にある。概して平坦で東北部に標高300mの山林があり、年間雨量1,278mm、平均気温14.7℃で温暖にして災害も少なく、農作物の栽培に適している。

3. 面積

面積は29.33km²で東西7.5km南北6.7kmである。

総面積	田畑	山林	宅地	その他
29.33km ²	9.83km ²	13.55km ²	1.89km ²	4.06km ²
100%	33.5%	46.2%	6.4%	13.9%

4. 人口

昭和45年まで一時的には人口も減少したが、その後企業の進出と住宅団地等の造成により急速に人口が増加し、現在では30年合併当時に比較して120%の増加率となっている。

交通の便がよく、通勤時間も適当で岡山市、備前市のベッドタウンとして、公害のない住みよい町として発展しつつある。

人口の推移 (住民基本台帳による4月1日現在)

年次	人口	男	女	年次	人口	男	女
昭30	7,632人	3,740人	3,892人	昭52	8,603人	4,155人	4,448人
35	7,313	3,566	3,747	53	8,877	4,296	4,581
40	6,956	3,362	3,594	54	8,995	4,355	4,640
45	6,737	3,204	3,533	55	9,072	4,406	4,666
50	7,756	3,739	4,017	56	9,176	4,470	4,706

5. 就業構造

就業者数は昭和50年4,171人で第1次産業の構成比24.3%となっているが、近年第2次、第3次産業へ就業が目立っている。

年次	総人口	就業人口	第1次産業人口	第1次産業構成比	第2次産業人口	第2次産業構成比	第3次産業人口	第3次産業構成比
昭30	7,501人	3,633人	2,683人	73.9%	311人	8.5%	639人	17.6%
35	7,110	3,634	2,245	61.8%	607	16.7%	782	21.5%
40	6,758	3,896	2,141	54.9%	762	19.6%	993	25.5%
45	6,659	3,954	1,690	42.8%	1,045	26.4%	1,219	30.8%
50	7,943	4,171	1,012	24.3%	1,558	37.3%	1,601	38.4%

(国勢調査 人口10月1日)



町長 松村 敏夫



▲庁舎全景



長船町合併20周年記念
昭和50年1月29日制定

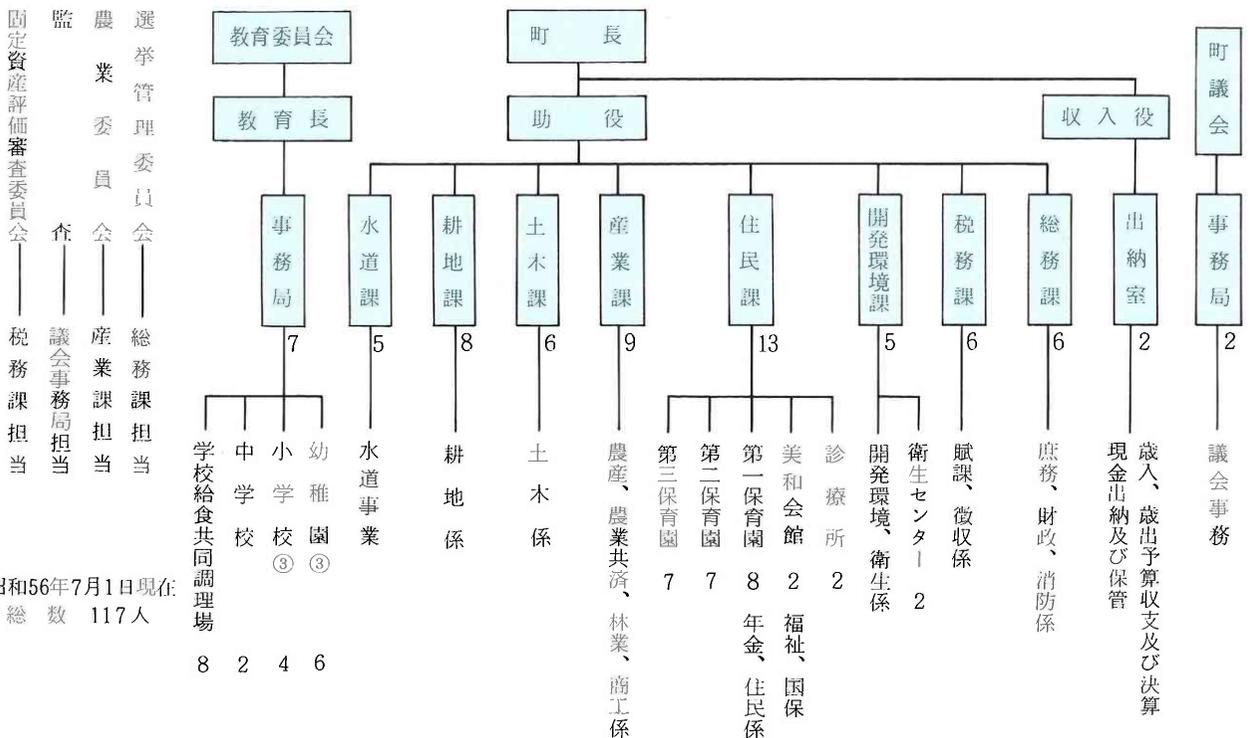
刀の鏢と3村合併をかたどり「融和と連帯」を意味し明るく躍進する平和な町長船を象徴する。

長船町民憲章

わたしたちは、千古の歴史に誇りをもち豊かな未来を約束された長船平野の緑の中で生活している長船町民です。この憲章をくらしの合言葉に、みんな手を取り合っ
て、住みよい町をつくりましょう。

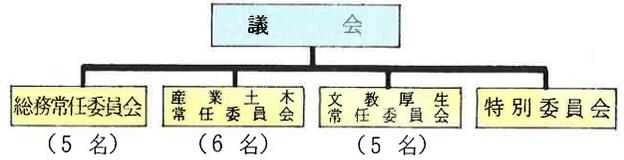
1. 健康を大切に、たくましく生きる心と体をつくりましょう。
1. 働くことに喜びと生きがいをもち楽しい職場をつくりましょう。
1. 郷土の伝統を生かし、新しい文化の創造に努めましょう。
1. 信頼と愛情を深め、明るい社会と、家庭をつくりましょう。
1. 秩序と規則を守り、平和で希望に満ちた、町をつくりましょう。

(地方自治法施行30周年記念)
(昭和52年11月3日制定)



町の最高議決機関である町議会は16名で構成され、年4回の定例会と必要に応じて臨時会を開催している。

また専門的な立場から審議を進めるため、3つの常任委員会を設けている。なお必要により特別委員会を設けることができる。



財 政

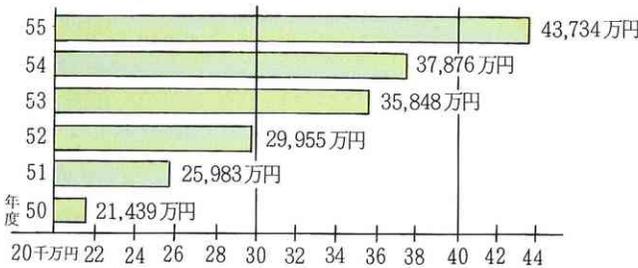
昭和55年度一般会計決算では歳入総額は19億5,142千円、歳出総額18億8,436千円で、歳入において地方交付税、国、県支出金、町債のウエイトは高く、自主財源の乏しいことが表われています。

歳出では社会福祉事業、児童福祉事業、地域農政特別対策事業、林道開設、農道、用水、排水改良事業、町道改良事業、学校教育施設等に充てられています。

■ 特別会計の決算及び予算額 (単位 千円)

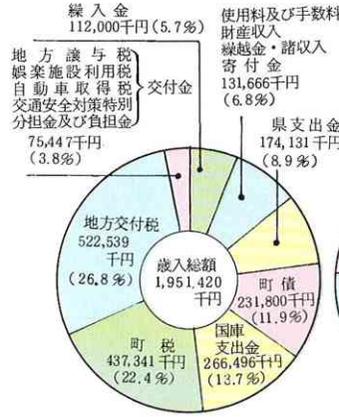
会 計 別	昭和55年度決算額		昭和56年度
	歳 入	歳 出	予 算 額
国民健康保険	266,301	235,198	261,852
農業共済事業	58,500	37,349	75,177
住宅新築資金等貸付事業	112,202	108,545	104,898
生活改善資金貸付事業	3,774	381	3,649
水道事業	68,595	74,765	85,602
美和診療所	14,976	14,342	13,940

■ 町税の推移

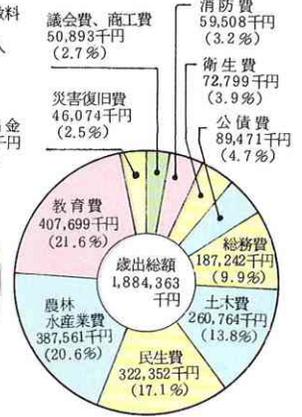


■ 昭和55年度一般会計決算

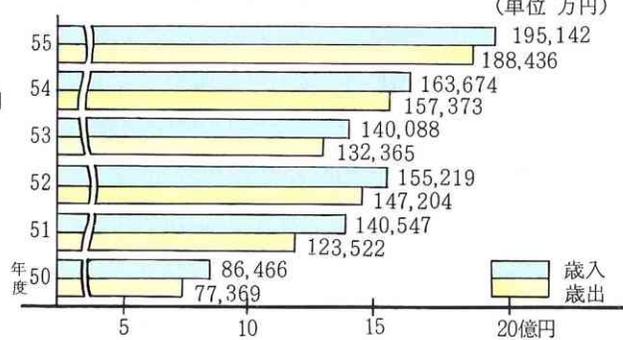
《歳入財源調》



《歳出目的別調》



■ 一般会計歳入歳出決算額の推移



社会福祉

健康で、住みよい生活環境を目指し、昭和52年し尿処理施設（焼却方式）を建設し以来毎日稼働中で、収集人口、収集量共急増しつつあるので、現有施設の耐久性処理能力等考慮すると近い将来増改築を検討しなければならない。ゴミ処理については、現在町有地に埋没処理を実施しているが、近い将来埋没処理不可能となるので、隣接の邑久、牛窓清掃処理施設組合へ加入申込交渉中である。



▲ 衛生センター

1. 老人憩の家

昭和54年度美和地区へ建設、老人の憩の場となった。



▲ 老人憩の家

2. 美和診療所

昭和54年度美和地区へ老人憩の家と併設、現在利用者が増加の傾向である。

3. 国民健康保険

勤労世帯の増加による社会保険への加入と、老人世帯の増、また医療費等の上昇、高額療養により年々給付額が上昇し、困難な財政事情で運営している。

■ 国民健康保険者の推移

年度	世帯数	被保険者数	加入割合		1人当りの 保 険 税
			世 帯	被保険者	
昭51	918	2,547 ^人	44 [%]	32 [%]	19,291 ^円
52	914	2,525	42	30	19,611
53	921	2,520	40	29	28,174
54	945	2,531	40	28	29,011
55	957	2,554	39	28	30,079

■ 国民年金被保険者数の推移

(4月1日現在)

年度	被 保 険 者 (人)			免 除 被 保 険 者 (人)		
	強 制	任 意	計	法 定	申 請	計
51	1,021	869	1,890	17	19	36
52	1,001	901	1,902	18	28	46
53	1,021	911	1,932	18	33	51
54	973	949	1,922	23	41	64
55	950	926	1,876	25	45	70

4. 老人福祉

老人の1人住い、ねたきり老人の健康管理をするため、昭和54年家庭奉仕員を1名増員し現在2名設置している。

5. 児童福祉

昭和55年度において第3保育園建設、現在保育園3ヶ所で3年保育を実施している。



▲ 第3保育園

■ 福祉年金支給状況

区分 年度	老齢年金(人)	障害年金(人)	敬老年金(人)
51	1,041	45	長寿年金 382
52	1,073	51	
53	1,114	57	希望年金 (1~4級) 124
54	1,169	59	
55	1,194	61	

住民生活の安定

1. 消 防

本町の消防団は3分団編成で団員140名である。機動力は消防自動車1台、可搬式小型動力ポンプ積載車3台、小型動力ポンプ8台を設置している。

□ 消防団の編成装備



防火設備

種 類	数
防 火 水 槽	20 ^{m²} 8
〃	40 ^{m²} 11
消 火 栓	150%未満 150
〃	150%以上 85



▲ 消防団訓練

昭和49年4月1日郡内3町広域消防として、邑久消防組合が発足以来、昭和53年度長船分駐所が開設、消防救急等の業務が一段と強く要請されており、地域住民の生命、財産の安全を図るため有事即応の態勢を整えている。

1. 学校教育

現在町内に小学校3、中学校1があり、恵まれた自然環境の中で明日を担う児童、生徒の育成を行っている。

2. 社会教育

○学級講座

母子学級、家庭教育学級、婦人学級、高齢者学級

○団体育成活動

子ども会、FOS少年団、スポーツ少年団、青年団、婦人会、老人クラブ

○社会体育活動

ソフトボール、庭球、バレーボール、剣道、野球、空手、バドミントン、オリエンテーリング、各同好会

○クラブ活動

詩吟、扇剣舞、日舞、民謡、囲碁、盆栽、書道、生花、手芸、木彫、俳句、川柳、絵画、コーラス、カラオケ、英会話、洋裁、料理

○社会教育施設

長船町中央公民館、美和分館、行幸分館、美和会館、老人憩の家

3. 幼児教育

各小学校に併設している幼稚園、3園で幼児教育を行っている。



▲ 中 学 校

▼ 中央 公 民 館



■ 児童生徒数の動向

学 校 名	52年		53年		54年		55年		56年		57年	
	学級数	児生徒数										
美和小	6	113	6	127	6	134	6	129	6	140	6	136
国府小	6	194	6	213	8	240	8	254	8	262	9	272
行幸小	12	398	13	454	14	470	14	479	14	487	15	492
計	24	705	25	794	28	844	28	862	28	889	30	900
長船中	9	306	9	312	10	327	10	337	10	372	11	409
合計	33	1,011	34	1,106	38	1,171	38	1,199	38	1,261	41	1,309

■ 地区別世帯数と人口 (昭和56年4月住民登録)

地 区	世帯数	人 口	世帯比率	人口比率
美和	430	1,670	17%	18%
国府	799	3,037	32	33
行幸	1,247	4,469	51	49
計	2,476	9,176	100	100

■ 動態人口

(昭和50~55年)

年 次	動 態 人 口					
	出 生	死 亡	自然増	転 入	転 出	社会増
昭50	128	54	74	544	214	330
昭51	130	72	58	466	192	274
昭52	115	61	54	460	351	109
昭53	107	67	40	324	268	56
昭54	124	84	48	431	343	88
昭55	110	80	30	441	367	74

産 業

1. 農 業

農業生産額の主体をなすものは水稲で、生産性の向上を目指して、基盤整備を実施している。

本町の農家戸数は1,102戸で町内全戸数の45%を占めている。経営耕地別には1ha以下の農家が73%。専業農家は僅か9%で年々減少する反面、兼業農家はますます増加の一途をたどっている状況である。従って農業就業者も老令婦人化し必然的に第二種兼業農家の増加が目立っている。

■農業経営の状況 (単位 戸)

年次	専業農家	一種農家	二種農家	計
昭45	154	336	769	1,259
昭50	92	80	1,021	1,193
昭55	102	102	898	1,102

■経営耕地面積 (単位 戸)

年次	30a未満	30~50a	50~70a	70~100a	100~150a	150~200a	200a以上	計
昭45	219	216	232	240	276	62	14	1,259
昭50	211	231	218	226	231	57	19	1,193
昭55	211	184	194	212	207	66	28	1,102

■家畜飼養頭数 (昭和55年)

区分	飼養農家数	飼養頭数
乳用牛	23 戸	509 頭
肉用牛	9	205
豚	14	970
にわとり	10	405

■産業別商店数、従業者数商品販売額調 (昭和54年商業統計)

区 分	商店数	比率(%)	従業者数	比率(%)	年間販売額(万円)	比率(%)
総 数	117	100	340	100	479,956	100
一般卸売業	9	8	40	12	47,878	10
織物、衣服、身廻品小売業	12	10	29	9	26,369	5
飲食料品小売業	43	37	99	29	132,304	28
自動車、自転車小売業	12	10	40	12	42,368	9
家具、建具、什器小売業	11	9	24	7	25,830	5
その他の小売業	30	26	108	31	205,207	43
飲 食 店	29	—	125	—	61,683	—

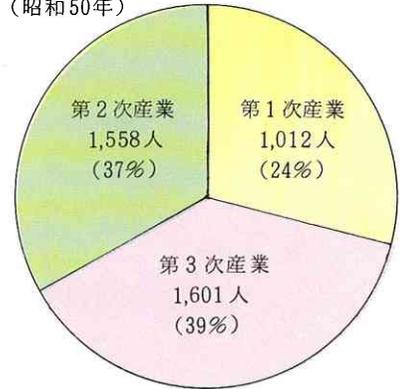
■産業別工場従業者数、製造品出荷額等調 (昭和54年工業統計)

区 分	工場数	比率(%)	従業者数	比率(%)	製造品出荷額等(万円)	比率(%)
総 数	49	100	703	100	795,641	100
食料品製造業	5	10	120	17	364,389	46
衣服他繊維品製造業	9	18	84	12	20,373	3
家具、装備品製造業	5	10	31	4	34,122	4
紙加工印刷関連製造業	3	6	184	26	86,605	11
窯業、土石製品製造業	11	24	152	22	136,807	17
金属製品製造業	9	18	77	11	110,492	14
電気、機械器具製造業	3	6	—	—	—	—
その他の製造業	4	8	55	8	42,853	5

2. 商 工 業

本町の商工業者は307、従業者数1,473人、年間販売額は約18,462百万円で、内商業関係193、従業者数418人、年間販売額は約8,094百万円、工業関係114、従業者数1,055人、年間販売額は約10,368百万円となっている。(町商工会資料による)

■産業別就業人口 (昭和50年)



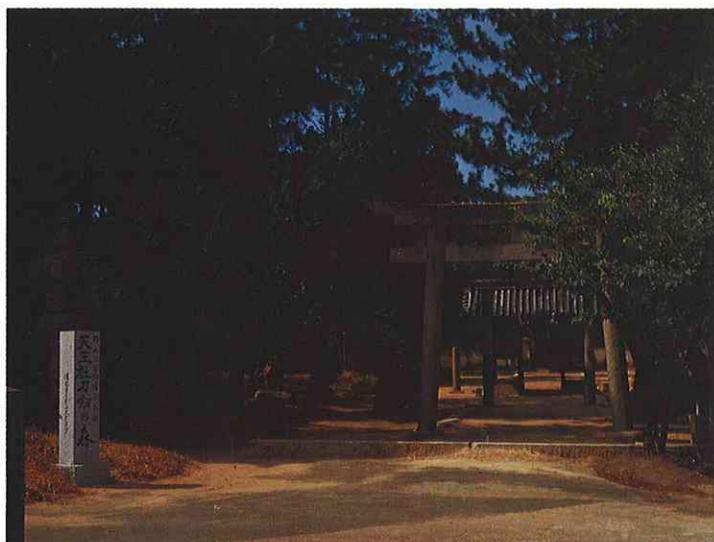
■産業別就業人口の推移

区 分	昭和45年	昭和50年
総 数	3,954人	4,171人
第1次産業	1,690	1,012
農 業	1,680	1,008
林業狩猟業	10	4
第2次産業	1,045	1,558
鉱 業	8	3
建設業	253	370
製造業	784	1,185
第3次産業	1,219	1,601
卸売業小売業	470	613
金融、保険不動産業	35	77
運輸通信業	160	212
電気、ガス、水道業	8	12
サービス業	455	571
公 務	91	116

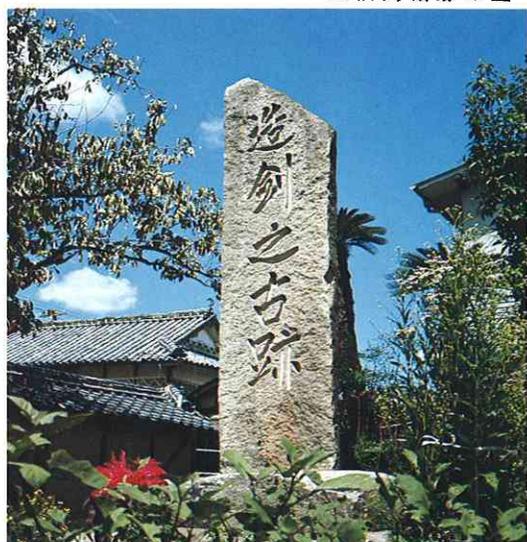
文化財



▲福岡城跡の丘



▲天王社刀剣の森（韃負神社）



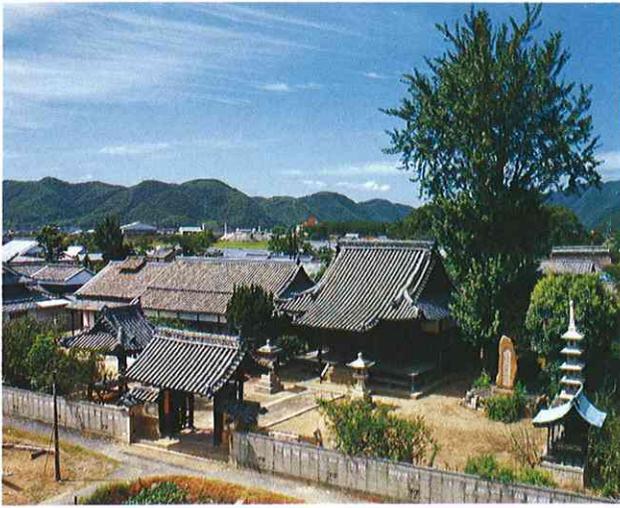
▲造剣の古跡



▲黒田官兵衛父祖の墓

▶ 妙興寺





◎ 文化財
 ■ 県指定文化財等

種別	名称	数量	場所
史跡	花光寺山古墳	1	大字服部
	築山古墳	1	大字西須恵
郷土記念物	福岡城跡の丘	1	大字福岡
	天王社刀剣の森	1	大字長船

長船町の位置

